

社会科学習指導案

単元名「はたらく人とわたしたちの暮らし 店ではたらく人」

令和7年10月 第3学年 指導者 都筑 悠

I 単元の構想

1 単元観

本単元では「地域に見られる販売の仕事」を学び、内容(2)ア- (イ) (ウ)「販売の仕事は、消費者の多様な願いを踏まえ売り上げを高めるよう、工夫して行われていることを理解すること」及びイ- (イ)「販売の仕事は、消費者の多様な願いを踏まえ売り上げを高めるよう、工夫して行われていることを理解すること」を受けて設定する。本教材は、一般的に買い物で利用する機会の最も多いスーパーマーケットを取り上げている。

私たちの身の回りには様々な種類の商店があるが、なかでもスーパーマーケットは日常的に多くの人が利用している商店であり、消費者の視点、販売者の視点の両方から販売の仕事について捉えることができる教材である。スーパーマーケットは、売り上げを高めるために、ちらしで特売日を宣伝したり、タイムセールを行ったりするなどの商品の値段に関わる工夫や、商品を小分けにしたり、国内だけでなく世界各地から商品を仕入れ、販売したりするなどの品揃えに関する工夫を行っている。また、産地や生産者、消費期限をラベルに表示するなど、消費者が安全に買い物をすることができるような工夫も行っている。さらに、駐車場、駐輪場を設けたり、リサイクルコーナーを設置したりするなど、店に来た人にとっての利便性を高める工夫も行っており、販売者は消費者のニーズに応え、売り上げを高めるために様々な工夫を行っている。また、多くの人が日常的に利用するごく身近な存在であるが、商品の仕入れは、地域だけでなく、国内、海外の様々な地域から行っているため、自分たちの地域と他地域との関わりについても気付くことができる教材である。

具体的には、消費者の願い、販売の仕方、他地域や外国との関わりなどに着目して、見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、白地図などにまとめ、関わっている人々の様子を捉え、それらの仕事に見られる工夫を考え、表現することを通して、販売の仕事は、消費者の多様な願いをふまえて売り上げを高めるよう、工夫して行われていることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究し解決しようとする態度を養う単元である。

2 研究との関わり

主体的な学びについては、児童が学習課題を把握しその解決への見通しをもつことが必要である。そのためには、単元などの学習過程の中で動機づけや方向付けを重視するとともに、学習内容や学習活動に応じた振り返りの場面を設定し、児童の表現を促すようにするなどが重要である。

そこで、本研究では、地域学習において児童が主体的に学び続けるために、社会的事象との出会いを工夫して問題意識を高め、学習問題を予想したり、学習計画を立てたりして、追究・解決への見通しをもち、さらに、学習成果を吟味したり、新たな問いを見いだしたりさせるようにする。また、学んだことを基に、自らの生活を見つめたり、社会生活に向けて生かしたりしようとする学びの成果物を作成する活動を取り入れ、問題解決的な学習を行っていく。

3 単元の目標及び児童の実態

	目 標	児童（生徒）の実態
知識及び技能	・販売の仕事は、消費者の多様な願いを踏まえ、売り上げを高めるように工夫して行われていることを理解し、見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、白地図などにまとめる技能を身に付ける。	・身近に様々な形態の販売の仕事が存在し、様々な工夫をしていることは理解しているが、消費者の願いと販売者の工夫が相互に関連していることを理解している児童は少ない。
思考力、判断力、表現力等	・消費者の願い、販売の仕方、他地域や外国との関わりなどに着目して、販売に携わっている人々の仕事の様子を捉え、それらの仕事に見られる工夫を考え、表現する。	・見学したり調べたりしたことから、共通点や相違点に気づき、ワークシート等書き表すことができる児童は多い。しかし、情報を整理して伝える力が十分ではない。

<p>学びに向かう力、人間性等</p>	<p>・社会的事象について、よりよい社会を考え主体的に問題解決しようとする態度や、思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚を養う。</p>	<p>・自分たちが住んでいる市の位置は理解しているが、身近な地域にある公共施設、商店やそこで生産される商品にどのようなものがあるかなど、身近な地域に対する関心が低い。</p>
---------------------	--	---

4 評価規準

<p>知識・技能</p>	<p>① 消費者の願い、販売の仕方、他地域や外国との関わりなどについて、見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、販売に携わっている人々の仕事の様子を理解している。 ② 調べたことを白地図やノートにまとめ、販売の仕事は、消費者の多様な願いをふまえ、売り上げを高めるよう、工夫して行われていることを理解している。</p>
<p>思考・判断・表現</p>	<p>① 消費者の願い、販売の仕方、他地域や外国との関わりなどに着目し、問いを見だし、販売に携わっている人々の仕事の様子について考え、表現している。 ② 地域に見られる販売の仕事と他地域の人々の生活との関連を考え、適切に表現している。</p>
<p>主体的に学習に取り組む態度</p>	<p>① 地域に見られる販売の仕事について、予想や学習計画を立てたり、学習を振り返ったりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。</p>

5 指導及び評価の計画（全10時間：本時第1時）

過程	時間	□学習活動	知	思	態	◆評価項目<方法（観点）> ○指導に生かす評価、●評定に用いる評価
つかむ	1 本時 出会う	□各家庭の買い物調べの結果やスーパーマーケットでの買い物の写真を基に、「私の家の買い物の特徴」について話し合う。 [本時のめあて] スーパーマーケットで買った商品の写真をもとに話し合う活動を通して、自分の家の買い物のとくちょうをまとめよう。			●	◆グラフや写真の情報から、スーパーマーケットでの買い物の特徴について意欲的に話し合うことができている。 <観察・ロイロノート（態①）>
出会う	2 出会う	□スーパーマーケットはなぜ一日に多くの人々が利用し、たくさんの商品を購入するのかを学習問題とし、解決するための学習計画を立てる。 [本時のめあて] スーパーマーケットのなぞを解決するための学習計画を立てよう。 [学習問題] なぜスーパーマーケットは、一日にたくさんの人が買い物に來たり、一度にたくさんの商品を買ったりしていくのだろうか。			○	◆スーパーマーケットの特徴がなぜ生まれるのか、解決するための計画を立て、学習の見通しをもつことができている。 <観察・ロイロノート（態①）>

追究する	3・4	調べる	□店内外の様子や商品、働いている人の様子を見学する。	○		◆店内外の様子や商品、働いている人の様子について、見学して分かったことを記録している。 <観察・見学メモ（知①）>
	<p>[本時のめあて] スーパーマーケットを見学して、「お店のつくり・商品・はたらく人」のくふうを見つけよう。</p>					
	5・6	整理する	□見学して分かったことをまとめ、グループで共有する。	○		◆グループで話し合ったことを踏まえ「お店のつくりの工夫」「商品の工夫」「働く人の工夫」について分かったことをまとめている。 <観察・ロイロノート（知①）>
<p>[本時のめあて] スーパーマーケットを見学してわかったことを、「お店のつくり・商品・はたらく人」に分けて整理しよう。</p>						
深める	7		□スーパーマーケットで売られている商品の工夫を、自分の買い物の写真から見付ける。		●	◆消費者の願いにこたえるため、商品の大きさを工夫したり、様々な商品を入荷したりしていることをまとめている。 <観察・ワークシート（思①）>
	<p>[本時のめあて] 見学で発見した商品の工夫を、買い物の写真から調べる活動を通して、わかったことをまとめよう。</p>					
深める	8		□スーパーマーケットで働いている人（店長・売り場・バックヤード）へインタビューする。	○		◆消費者の願いにこたえるため、様々な工夫をしていることに気づき、まとめている。 <観察・ロイロノート（知②）>
	<p>[本時のめあて] インタビューを通して、スーパーマーケットではたらいっている人々は、どのようなことを大切にして仕事をしているのか明らかにしよう。</p>					
まとめる	9・10	まとめる	□スーパーマーケット新聞を作成し、学習問題をまとめる。	●		◆スーパーマーケットは、お客様の願いにこたえながら、たくさんの人に来てもらい、たくさん買い物をしてもらう工夫をしていることをまとめている。 <新聞（知②）>
	<p>[本時のめあて] なぜスーパーマーケットは、一日にたくさんの方が買い物に来たり、一度にたくさんの商品を買ったりしていくのかがよくわかる新聞を作成しよう。</p>					

II 第1時の学習

1 ねらい 各家庭が回答した買い物調べの結果や各家庭のスーパーマーケットで購入した商品の写真を基に話し合う活動を通して、販売の仕事と自分の生活との結び付きに気付き、販売の仕事への関心を高めることができるようにする。

2 展開

<p>主な学習活動 予想される児童(生徒)の反応〔S〕</p>	<p>◎研究上の手立て ○指導上の留意点 ◆評価項目(観点)</p>
<p>1 様々な形態の店舗の写真や、児童と保護者の買い物についてのアンケート結果を提示し、本時のめあてをつかむ。 (導入10分)</p> <p>T: みんなは、どこで買い物をすることが多くありますか。 S: わたしは、お母さんとスーパーマーケットで買い物をすることが多いよ。 T: みんなの家の人は、どこで買い物にすることが多いと答えているのでしょうか。 S: グラフを見ると、スーパーマーケットで買い物をすることが多いみたいだ。次は、コンビニエンスストアが多いみたいだ。 T: 今日は、スーパーマーケットで買った商品の写真を基に話し合う活動を通して、自分の家の買い物の特徴をまとめよう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><めあて> スーパーマーケットで買った商品の写真をもとに話し合う活動を通して、自分の家の買い物のとくちょうをまとめよう。</p> </div>	<p>◎商品の販売や流通が自分たちの生活とどのように関わっているのか関心を高めることができるよう、地域教材を扱った授業を単元の導入に実施する。</p> <p>◎自分たちの生活との関わりを見いだすことができるよう、地域にあるお店の写真を提示する。</p> <p>◎自分たちの生活との関わりを見いだすことができるよう、児童自身の回答と各家庭が実際に回答したアンケートの集計結果を教材として提示する。</p>
<p>2 スーパーマーケットで買った商品の写真を基に、自分の家の買い物の特徴を考える。 (展開①10分)</p> <p>T: みんなの家では、どんな買い物をしていますか。「わたしの家らしさ」を友達に伝えたらどんな言葉にまとめることができそうですか。 S: わたしの家では、家族が多いから一度にたくさん買い物をするな。</p>	<p>◎自分たちの生活との関わりを見いだすことができるよう、各家庭がスーパーマーケットで買った実際の商品写真をもとに、自分の家の買い物の特徴を考える。</p>
<p>3 自分の家の買い物の特徴についてグループで話し合う。 (展開②20分)</p> <p>T: 「わたしの家らしさ」がまとまりましたね。自分の家の買い物の特徴を紹介するとともに、友達の家買い物の特徴を聞いてみましょう。 S: わたしの家らしさは、家族が多いのでたくさん買い物をすることです。 S: ぼくの家らしさは、いつも野菜とお肉を必ず買っていることです。</p>	<p>○「わたしの家らしさ」をテーマにした話合いがスムーズに行えるよう、教師がまとめた「自分の家らしさ」を活動前に紹介する。</p> <p>◎自分たちの生活との関わりを見出すことができるよう、数名の生徒の「わたしの家らしさ」を取り上げ、教師が見出した「児童の生活とスーパーとのつながり、そのよさ」を全体で共有する。</p>

4 本時のまとめをし、学習内容を振り返る。

(終末5分)

T : 友達に紹介したり友達の家らしさを聞いたりして気付いたことを含め、自分の家の買い物の特徴をまとめてみましょう。

S : 友達の家らしさを聞いて、わたしの家は、野菜をたくさん買っていることにも気付きました。付け加えたいと思います。

T : 今日の学習から、スーパーマーケットについてもっと調べてみたいなど感じたことはありますか。

S : どうして家の人は、このスーパーを選んでいるのだろう。

S : これだけたくさん商品は、どのようにスーパーマーケットに集められるのだろう。

まとめ

わたしの家の買い物の特徴は、家族が多いので一度にたくさんの買い物をすること。また、野菜やお肉を必ず買っていること。

○学習の深まりを実感できるよう、数名の振り返りを紹介するとともに、「わたしの家らしさ」を言葉でまとめられたことや友達に紹介できたことについて称賛する。

◆評価項目

グラフや写真の情報から、自分の家の買い物の特徴に気付き、自分の言葉でまとめている。また、販売の仕事への関心を高めている。

<観察・ロイロノート(態①)>

ふりかえり

なぜ、スーパーマーケットを利用している人が多くいるのか、理由をしっかりと調べてみたい。

3 板書計画

10/16 はたらく人とわたしたちの暮らし

自分の家の買い物について話し合い、とくちょうをまとめよう。

話し合う順番や時間、グループ

わたしの家らしさ

スーパーマーケットの写真

コンビニエンスストアの写真

買い物をした商品の写真(例)

私の家らしさは、

- ~~~
- ~~~
- ~~~
- ~~~

ドラッグストアの写真

個人商店の写真

※児童と保護者のアンケート結果は、電子黒板に表示する。

児童
アンケートグラフ

保護者
アンケートグラフ